

# 「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時：令和5年7月13日（木）

9：00～10：00

場所：浜田市立松原小学校体育館

対象者：同校6年生 17名

指導者：○6年生担任 1名

○浜田市教育委員会 1名

○島根県古代文化センター 2名

## 1. 主題名

「学校周辺の遺跡と奈良の大仏」

## 2. ねらい

- ・ 「奈良の大仏」の大きさを、パズル体験を通して知るとともに、込められた先人の思いについて考える。
- ・ 体験型歴史学習を通し、歴史や文化財に対する興味・関心を高める。

## 3. 本時の展開

学習活動	指導者の支援および留意点
9：00～9：10（10分） ① はじめに～近くにある昔のもの～	・ 浜田城の跡で見つかった物を実際に見てもらい、近くの遺跡を紹介。
9：10～9：40（30分） ② 「奈良の大仏」の大きさを体験する ・ 1m四方のパネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。 ・ 大仏完成後、巨大さを体感できる写真を撮影。	・ 「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。 ・ 大仏の特徴的な部分（手のポーズや座っている台座など）と仏教での意味を紹介。
9：40～10：00（20分） ③ 本時のまとめ ・ 「奈良の大仏」が造られた背景と、当時の人々の願いを学ぶ。	・ 実物大の巨大さを念頭に、パズル体験をふりかえりながら話す。

## 4. 準備物など

- ・ 体験用具 「奈良の大仏」実物大パネル
- ・ 説明用具 浜田城跡の発掘調査出土品、松原小学校周辺の遺跡地図（配布）